

- 〔 名前 〕 高 田 昭 夫
- 〔 職位 〕 准教授
- 〔 保有学位 〕 教育学修士
- 〔 担当科目 〕 障害児保育
知的障害教育論Ⅰ
知的障害教育論Ⅱ
知的障害者の心理・生理・病理
重複障害者等の心理・生理・病理他
- 〔 専門分野 〕 特別支援教育
- 〔 学外活動 〕 日本特殊教育学会
大阪府立支援学校学校協議会協議委員
大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会選定委員
日本ヘレンケラー財団 理事
大阪知的障がい者スポーツ協会 理事
指導員研修会講師（放課後児童健全育成事業）
トミオカ児童発達・放課後等デイサービスアドバイザー
- 他、多数
- 〔 主な教育・研究業績 〕

(学術論文等)

農業体験活動「夢農場ミラクル」の軌跡 共著 平成21年12月 大阪教育大学障害児教育研究紀要、32, pp, 135-148

守屋（2009）が提唱しているライフシェアリング活動の一環として、大阪教育大学附属特別支援学校が開始した週末の農業体験活動「夢農場ミラクル」について報告・検討したものである。この農業体験活動は「生きる力」の育成を目指した余暇支援活動であり、週末に在校生も卒業生も家族連れで大学の学生たちと農業体験を楽しむことができる。本論文ではこれまでの活動の経過を報告し、その意義を自我発達やキャリア教育等の観点から考察してみた。

農業体験活動「夢農場ミラクル」の軌跡Ⅱ 共著 平成22年12月 大阪教育大学障害児教

育研究紀要、33, pp. 73-88.

守屋 (2009) が提唱しているライフシェアリング活動の一環として、大阪教育大学附属特別支援学校が開始した週末の農業体験活動「夢農場ミラクル」について報告・検討したものである。この農業体験活動は「生きる力」の育成を目指した余暇支援活動であり、週末に在校生も卒業生も家族連れで大学の学生たちと農業体験を楽しむことができる。本論文では、2年目の活動の経過の中から、生徒と保護者の変化を取り上げ、自我発達やキャリア教育等の観点から考察してみた。

自閉症教育の歴史 単著 平成22年11月 発達人間学研究 12 巻 1 号 pp. 17-24

特別支援学校在籍者の約3割が自閉症であると言われているが、これらの子どもたちは自閉症ではなく知的障害としての教育的対応をされているという現実がある。自閉症の子どもの多さと共に、知的障害とは異なる自閉症の障害特性及び自閉症の子どもの持つ困難性から、自閉症に対応した効果的な指導内容と指導方法について具体的に検討する必要がある。こうした状況をふまえ、知的障害を伴う自閉症を中心に、知的障害と自閉症の障害の違いや障害特性に応じた対応の在り方を自我発達の観点から考察した。

農業体験活動を導入した特別支援教育の教員養成の試み(1) 共著 平成25年11月 発達人間学研究 14 巻 1 号 pp. 13-23

大阪総合保育大学(以下、本学と記す)では、保育士・幼稚園教員・小学校教員・特別支援教育教員の免許を取得することができる。本学学生の中で、特別支援教育教員免許取得を希望するものの中から学力における上位50名が本課程に進むことができる。特別支援教育教員免許状取得のための授業の一つに、河内長野「はぐくみ農場」で農業体験活動を行う「特別支援教育総合演習」がある。本活動は、障害のある本人とその家族と農業を共に体験することによって、教員の資質に関わって重要なことを学ぶことができる場の一つである。

本論文では、急激な社会の変化に伴い、現在の教育における課題に向き合い、教員になるための重要となる資質について考える上で、農業体験活動の意義を検証し、教員を目指す学生に必要な資質(教員養成における重要な観点)についての一考察となると考えた。